



2024年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズHD
代 表 者 名 代表取締役社長 寺田 智美
(コード番号 3726 スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 松野 博彦
(TEL. 092-720-5460)

特別損失の計上並びに通期連結業績と前期実績値との差異、

個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日2024年11月14日開催の取締役会にて、2024年9月期の連結決算において、特別損失の計上を決議するとともに、本日付「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した2024年9月期の連結業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては前期実績値との比較となっております。

また、2024年9月期の個別決算においても、前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上並びにその内容

(1) 特別損失(債務保証損失引当金繰入額)の計上(個別・連結)

当社は、2015年8月～2017年6月の期間において連結子会社であったクレイトン・ダイナミクス株式会社(本社：福岡県福岡市、代表取締役 友成 聖)の財政状態が著しく悪化したことに伴い、同社の借入金に対する当社の保証債務を履行する可能性が高まったため、債務保証損失引当金繰入額81,500千円を特別損失に計上することといたしました。

(2) 特別損失(リテール事業の資産除去債務・原状回復費用減損損失)の計上(個別・連結)

当社のリテール事業の既存店舗における退店時の原状回復費用として資産除去債務を計上しておりましたが、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報の入手に伴い、改めて資産除去債務・原状回復費用を見直した結果、過年度に計上していた資産除去債務の計上額との差額分について2,571千円を特別損失に計上することといたしました。

2. 連結業績と前期実績値との差異について

(1) 2024年9月期 連結業績と前期実績値との差異 (2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 2,136	百万円 △214	百万円 △216	百万円 △272	円銭 △35.29
当期実績 (B)	2,257	△126	△129	△230	△17.92
増減額 (B-A)	121	88	87	42	—
増減率 (%)	5.7%	41.1%	40.3%	15.4%	—

(2) 差異の理由

当期連結会計期間の業績につきまして、売上高においては、リテール事業については店舗撤退に伴い減少しておりますが、通販事業、卸売事業が順調に売上を伸ばしたことにより前期実績を上回る結果となりました。

営業利益、経常利益におきましては、広告宣伝費や販売促進費の効率的・効果的な運用、リテール事業での収益性の低い店舗撤退により、前年対比を大幅に改善することとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益の損失額は、「1. 特別損失の計上並びにその内容」に記載の理由が主な要因となっております。

3. 個別業績と前期実績値との差異について

(1) 2024年9月期 個別業績と前期実績値との差異 (2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 1,780	百万円 △209	百万円 △223	百万円 △300	円銭 △38.90
当期実績 (B)	1,833	△125	△127	△221	△16.83
増減額 (B-A)	53	84	96	79	—
増減率 (%)	3.0%	40.2%	43.0%	26.3%	—

(2) 差異の理由

当期会計期間の業績につきまして、連結同様、売上高は前期実績を上回る結果となり、営業利益・経常利益におきましては、損失ではございますが前年対比を大幅に改善することとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益の損失額は、「1. 特別損失の計上並びにその内容」に記載の理由が主な要因となっております。

以上